

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本記録会は2019年度日本陸上競技連盟規則並びに本記録会の開催要項により実施する。

## 2. 練習について

- (1) 練習は指定された主競技場および補助競技場で実施すること。練習時間については下記のとおりとする。

	トラック	跳 躍	投 て き
主競技場	7:00~9:00	7:00~9:00	7:00~9:00
	1・2レーン 中・長距離 3~6レーン 短距離・リレー 7・8レーン ハードル	走高跳・走幅跳・三段跳・棒高跳	砲丸投のみ ハンマー投・円盤投・やり投については、招集完了後に競技場内で係員の指示により練習
補助競技場	7:00~15:30 フィールド内(人工芝)でのスパイク使用禁止	練習不可	

- (2) 練習は原則として監督が付き添って行うこと。また、安全に留意し、各チームの監督の責任において行うこと。  
 (3) 走路でのミニハードル、マーカー、チューブ等の器具を使用しての練習は禁止とする。  
 (4) 投てき器具を使用しての練習は事故防止のため禁止する。  
 (5) トラックを横切る際は、左右を確認し十分に注意すること。

## 3. 招集について

- (1) 招集は、**競技開始場所**に招集完了時刻に集合し、役員にナンバーカードを見せて確認を受けること。招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

トラック競技	フィールド競技		
	跳躍 (棒高跳)	跳躍 (棒高跳以外)	投てき
15分前	60分前	30分前	30分前

- (2) リレーのオーダー用紙は招集完了時刻の1時間前までに100m スタート付近の招集所に提出する。  
 (用紙は招集所に用意してある)

## 4. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは各種目とも、胸・背部両面につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部どちらか一方でもよい。  
 (2) 県外選手のナンバーカードについては、各都道府県で使用しているナンバーカードを使用すること。  
 (3) トラック競技で1500m以上の種目に出場する競技者は腰ナンバーカードを右腰臀部につけること。腰ナンバーカードは競技開始場所で受け取り、各競技終了後はただちに返却すること。

## 5. 競技について

- (1) スタートの合図は「On Your Marks」「Set」のイングリッシュコマンドとし、不正スタート1回で失格とする。  
 (2) リレー競技について、同一団体から複数のチームを申し込んだ場合、チーム間で競技者の移動はできない。  
 (3) セパレートレーンで行う競技では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。  
 (4) フィールド種目(走高跳・棒高跳を除く)は3回の試技とする。  
 (5) 走高跳・棒高跳の競技開始の高さおよびバーの上げ方については、現地の役員の指示に従うこと。  
 (6) 競技用具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、やり・棒高跳用ポールについては、審判員の検定を受け合格した物に限り使用することができる。検定については、棒高跳用ポールは現地で、やりは競技開始の60分前にフィニッシュ付近の器具倉庫前において行う。  
 (7) スパイクシューズのピンはオールウェザー用とし、長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

## 6. その他

- (1) 発病・負傷については、応急処置以外の責任は負わない。  
 (2) 貴重品の管理は各自が責任を持って行うこと。紛失の責任は負わない。  
 (3) ゴミは各自責任を持って持ち帰ること。  
 (4) 競技会の参加者氏名・所属および成績等については、島根陸上競技協会ウェブサイトおよび新聞等に掲載される。